

西部地区労連ニュース



試合の前 バックネットに集合する参加者

軟式野球大会 38名が集う

12月7日、西部地区労連第8回軟式野球大会が浜松市営第2球場で開催されました。晴天微風の野球日和のもと、参加者は応援と家族含め38名でした。堀内議長は開会式で「勝負よりも交流が大事です」と挨拶しました。

参加チームは浜松市労連、浜松医療センター、西部地区労連選抜の3チーム。優勝は浜松医療センター、準優勝は浜松市労連、3位は西部地区労連選抜でした。

事実上の決勝戦となった浜松医療センターと浜松市労連戦は、浜松医療センターが初回に3点を先行し、中盤にも着実に得点を重ねました。投げては平野投手が浜松市労連を1点に抑えて試合を制しました。

西部地区労連選抜は若い選手を補強しましたが、浜松市労連と浜松医療センターに大敗しました。何れも初回に大量得点を許す展開となり、序盤で勝負が決まってしまうました。

大会は皆様のご協力により、けが人もなく無事終了することができました。

西部地区労連選抜は高齢化で動きも鈍くなっています。来年からはソフトボール大会に変更するなど、体を動かす目的で気軽に参加できる大会運営を検討したいと思っています。

試合結果

- ◆第1試合
浜医セ5 対 1市労連
- ◆第2試合
浜医セ10 対 2地区労連
- ◆第3試合
市労連5 対 0地区労連

12月1日、西部地区労連と西部争議連はJR浜松駅前で「一日宣伝」を行い、7名が参加しました。12月7日に行われる労働相談ホットラインの宣伝と、労基法解体の危険性を訴えました。

労基法解体 許すな!!

政府・財界は、多様で柔軟な働き方を理由に、1日8時間・週40時間労働の原則を無視（デロゲーション）して、労使の協議だけで労働者に長時間労働や休日労働をさせようとしています。

健康管理をしないと、健康が保てませんが、労働者は健康さえ維持できればいいというわけではありません。家族や自分の時間が大切であり、ジェン



駅前宣伝参加の皆さん



浜松医療センターから応援の皆さん

水源

今年の漢字は、①熊、②米、③高だそう。高について、いちばんは物価高騰の高でしょう。物価高騰にベアが追いつかず、実質賃金は下がりに続いています。その象徴が②の米価です。新米が出回るようになれば米価は下がるだろうと期待されましたが、下がるどころか最高値更新が続いています。▼さて消費者庁によると、R5年の日本の食品ロスは464万トン。内訳は家庭系と事業系が半分ずつだそうです。これを国民一人当たりで換算すると、おにぎり一個分の食べものが毎日捨てられていることになるそうです。またこれは飢餓に苦しむ世界中の人々に向けた食料支援量の約1・3倍に相当するそうです。▼ずい分前のことですが、スーパーでこんなことがありました。年配の男性がお米を買おうと10キロ袋を抱えてレジに向かっていたら、その袋が破れてお米が床にあふれ落ちてしまったのです。店員さんがお取り換えしますが、飛んできたのですが、その男性は拾って洗えば食べられるから交換の必要はないと言ったのです。なんて立派な人なんだろう、僕にはとてもそんなことは言えない、と肝に銘じたのでした。▼もう今年も終わります。皆さま、よいお年を。

スズキ補助金裁判宣伝 静岡駅地下道で

訴える嶋田博代表



スズキ裁判は9月9日の第25回裁判で結審し、来年1月29日に、いよいよ判決が出されます。

裁判のポイントの一つは、浜松市長(被告)側の「市が定めた補助金交付要綱にある『申請時点においてコンプライアンス違反のないこと』について、コンプライアンスは法律ではない」という主張が認められるか否かです。

ひまわり集会実行委員長 林克氏のあいさつ

11月16日、駿府公園で「ひまわり集会inしずおか」が開かれ、500人が参加しました。西部地区労連からも役員が参加しました。いなのとひら・のとのギターとベースによる世相風刺の歌と演奏があり、各氏のスピーチの後、アピールパレードに繰り出しました。

ひまわり集会開かれる

政府は原発再稼働へ前のめりで、まず新潟の柏崎刈羽原発の再稼働がねらわれている。しかし、県が実施した県民意向調査では、61%が再稼働できる状況にないと回答している。事故時の避難が明確

でない、屋外退避もはっきりしていないなど、能登半島地震でも問題となった避難について、多くの県民が不安を抱いている。

東電は柏崎刈羽原発再稼働に伴い、1000億円を用意して雇用を生み出すとしているが、電気は東京に行ってしまう、残るのは危険だけ。浜



演奏する いなのとひら・のとのこば

岡原発でも同じことが問われる。電気は名古屋に行き、危険だけが地元に残る。

浜岡の再稼働審査が行われているが、今後一山もふた山もある。敷地内の断層が活断層かどうか、中電は新しいデータをだしていい。地震で事故が起きれば、50キロ圏内216万人に危害が及ぶ。

原発の電気料金は、再エネの4倍である。危険な浜岡原発は、再稼働せずに廃炉にしなければならぬ。

脳トレ 漢字部首クイズ(二九)

(例) にならって漢字の部首を答えてください。解答は次号で。

- (例) 手・少・木・日・民・十(目) ↓ (看・省・相・冒・眠)
- (1) 東・歩・客・彦・是・十() ↓ ()
- (2) 十・干・工・也・中・十() ↓ ()
- (3) 己・土・亡・中・田・十() ↓ ()

* 前号の解答 (1) 一・氏・比・升・寺・十(日) ↓ (旦・昏・昆・昇・時)
(2) 屯・永・召・亥・羊・十(言) ↓ (託・詠・詔・該・詳)
(3) 午・公・区・斤・尤・十(木) ↓ (杵・松・枢・析・枕)

日々の暮らしの スパイス 川柳(二七)

高教組 今田久帆さん(浜松川柳社いしころ会)

危機管理できぬ政府のコメ不足

お米は単に農政だけでなく、地球温暖化の危機管理にも大きく関連してくる。多くの国が大変な食糧不足に襲われる中で、未来を見つめた政策が望まれる。

明日のため見つめる過去が夢を織る

過去の出来事を変えることはできないが、過去の失敗をしつかり見つめ直し、未来のために過去を織り込み、生かすことはできる。

夢中になる子どもに光る可能性

子どもが夢中になることは、これからの人生に大きく関わってくる。その興味関心を育てることで、大きな可能性が生まれてくる。

可能性自覚してから変わる夢

子どものころはいろいろな未来を描き、あこがれているが、その夢の可能性に気づいたときに、夢が目標になり、成長の糧になってゆく。

県教育のつどい

戦争の悲惨を学び、平和の語り部になろう

11月24日、静岡市「あざれあ」で第18回県教育のつどいが開催されました。教職員、父母、市民、学生が集い、子どもと教育について語り合いました。実行委員会を代表して橋本さんが開会挨拶をした後、愛知県立大学・久保田貢さんが記念講演を行いました。

記念講演「戦後80年・憲法78年戦争の記憶を紡ぎ、平和のために私たちは何ができるのか」から

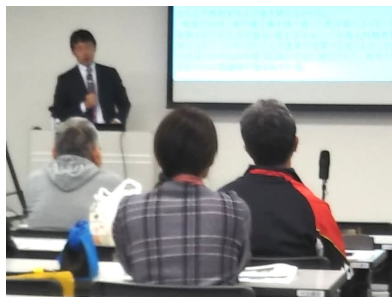
て知りました」と答えることなどを紹介し、今の青年の戦争認識の薄さ、その背景にある平和教育の貧しさを指摘しました。

戦争を戦跡・記念碑で知る

久保田先生は愛知県立大での授業や長野の民医連新入研修での講義の実践から、青年層の戦争認識・社会認識を紹介し、次に学校現場で教員が追い込まれている背景、結びに教育現場の再生、希望を語られました。

青年層の戦争認識

先生の授業を受けた学生の一人かが感想文に「赤紙」を「赤札」と書き間違えたこと、「原爆の子の像」「南京大虐殺」などの歴史的事実を示すと、学生の多くが「初め



講演する久保田貢 教授

運動によって権利を守る

「学習指導要領で平和教育は軽く扱われ、さらに歴史修正主義の横行で、歴史の事実が

見えなくされ、新自由主義による競争・評価の激化した社会が教師の多忙化に拍車をかけている」「三島沼津コンビナート反対運動、妙義山米軍基地反対運動などを示し「運動することにより権利は守られる」と展望を語りました。

(須部)

PFAS出前講座開かれる



市担当者(右端)に質問する参加者

浜松市による有機フッ素化合物(PFAS)浄化についての出前講座が12月5日に浜松市保健所会議室で行われ、「浜松PFAS汚染を考える会」など安全で安心な水環境を望む浜松市民11名が参加しました。

浜松市でも自衛隊基地周辺で安全基準値を上回るPFASが検出されています。

市は自衛隊基地周辺の河川や水路の基準値超え箇所を浄化実験を行っています。市環境保全課は「現時点の除去率は40%、実験終了まで推移を見守る」としています。

参加者からは「検査はいつまで続けるのか」「検査結果後の浜松市の対策はどうするのか」など多数の質問がありました。私たちが安全に暮らせるよう監視していきましょう。

しんぶん ちぎれ絵



JMITU 片倉裕子さん

春闘学習会 & 旗開き

1月25日(日)労働会館3F

春闘学習会 10時から

「26春闘と労働者の権利 労基法解体の動き」

講師 林 克 氏(静岡県地方自治研究所)

旗開き 12時30分から

会費 1000円

2コマ漫画

なんと2回コールド負け(涙)



堀内慶二(地区労連議長) 作

映画を観て

久慈悟郎 監督

『ペリリュー』

楽園のゲルニカを観る

南太平洋パラオ諸島の南西部にある小さな島、南北約9キロ、東西約3キロ、標高は最大で約50メートル。サンゴ礁が広がる青く澄んだ海。熱帯の豊かな木々が生い茂る、鳥や魚、様々な虫や美しい花々に満ち溢れた楽園のような場所。ペリリュー島。1944年9月15日から2か月半の戦いで、日本軍1万人の中最後まで生き残ったの

はわずか34人、米軍の死者は1600人とされる壮絶な戦いが描かれる。漫画家志望の心根の優しい青年、田丸一等兵(声・板垣李光人)は、絵の才能を買われ、亡くなった日本兵の最後の雄姿を遺族に向けて記す功績係の任務を命じられる。まもなく4万の米兵が上陸。日本兵は持久戦を展開するが、仲間はずれ々と命を落とす。田丸は、上等兵の吉敷(声・中村倫也)に何度も命を救われ、二人は心を通わせていく。



る武器と武器を持って向き合

えば、どれだけむごたらしいことが起こるかを表現している。実写では包み隠してしまふであろう生々しい戦いの描写を描き切っている。作品の世界観は独特だが、この描き方だからこそ、目をそらさずに過酷な歴史のページを見られるのだと思う。後半、戦争が終わって2年も洞窟に隠れていた日本兵たちは、米軍基地のごみ箱に捨てられていた英字新聞で、戦争はとくに終わっていることを知る。「捕虜になることは恥」という軍国教育による狂気、非人道性が繰り返して強調される。原作者で共同で脚本も手掛けた漫画家の武田一義氏は、「惨劇を繰り返させないため

には、戦争のディテールを伝えることが大事だと思えます。それが忘れられると、戦争という言葉が観念的になるし、戦争や平和について考える力が弱まるのではないかと語る。軍事費を9兆円に増やし、殺傷能力のある武器の輸出を推し進め、非核三原則も見直そうという自民・維新の政治。マスコミはそれを煽るような勇ましい報道を伝えるばかりだ。ウクライナで、ガザで、まるでゲームのように、無人機の攻撃で罪のない人々の命が奪われている。中学生や高校生、若い人たちに、史実に真摯に向き合ったこの映画をぜひ見てほしい。(笹ヶ瀬)

連載 組合員の紹介 この人

浜松タクシー労組 松田健一さん

私は浜松タクシー労働組合の執行委員長の松田健一と申します。常任幹事として、この十月から西部地区労連にお世話になっていきます。この仕事を選んだのは、運転をするのと、何よりも人と話すことが好きだったからです。労働条件は決して

良いとはいえませんが、毎日、いろいろな御客様を御乗せして「一期一会」を実感しています。今年2月に還暦となりました。一人息子は独立しました。さあ、待ちに待った第二の青春の始まりだ、と思っています。ところが、無趣味・無特な輩なので、一体何を楽しみにすればいいのだろうか、と考えてしまうという次第です。



そんな事はさておいて、これから皆さんと共に頑張っていきたいと思う所存です。どうぞ、何卒、宜しく御願ひ致します。